

北海道議会議員（上川地域選挙区）

水間健太 道政報告書

令和5年10月号

子ども達の未来のために。



水間健太事務所 〒076-0032 北海道富良野市若松町8-10 TEL 0167-33-1778 FAX 050-3488-9580 E-MAIL mizumakenta.office@gmail.com

令和5年第3回定例会が開かれました

9月12日から10月6日の日程で令和5年度第3回定例会が開かれました。一般会計の補正予算では、395.6億円の補正予算が提案され原案の通り可決されました。

また、各会派による代表質問をはじめ各議員による一般質問が行われました。自民党・道民会議の代表質問には空知地域選出の植村真美道議が立ち、物価高騰対策、次世代半導体製造拠点（ラピダス）、ヒグマ対策学校における熱中症対策等26項目に渡り、知事及び教育長、警察本部長の考えを質しました。

水間健太は、9月11日に行われた、保健福祉委員会において、新型コロナウイルス感染症対策として実施した、令和3年度4年度のコールセンター業務の委託契約において発覚した電通北海道による過請求事案について質問し、本件事案に対する適切な対応と再発防止に努めるよう強く求めました。また、10月5日に行われた保健福祉委員会においても、富良野協会病院が地域の医療機関と連携し設立を目指す、地域医療連携推進法人について質問をしました。

補正予算の主な内容

特別高圧電力利用事業者緊急支援事業費 4億9,585万円（既存事業への追加補正及び対象者変更）

電気料金高騰の影響を受けている特別高圧電力を利用する中小・小規模企業にたいする支援（R5年4月～9月利用分、支給上限100万円）

宿泊業環境整備緊急対策事業費 12億8,236万円（既存事業への追加補正）

深刻な人手不足に加え、電気料金等の価格高騰の影響を受けている宿泊事業者の負担軽減を図るため、省力化・省エネルギー化に資する設備の導入を支援、主には自動チェックインシステム、小型冷蔵庫、LED照明等の導入に対する支援（3/4以内で上限500万円）

道産水産物緊急消費喚起事業費 8,800万円（新規）

中国における日本産水産物の全面輸入停止措置への緊急的な対応として、道産水産物消費拡大に向けた取組を支援

医療機関等勤務環境改善支援事業費 1億5,311万円（新規）

新型コロナウイルス感染症対策地域医療支援基金を活用し、感染症患者の治療等に従事する医療従事者の勤務環境改善等に対する支援（医療機関における研修実施、保健所における車椅子型アイソレーター等）

畑地化促進事業費補助金 21億2,029万円（新規）

水田の畑地利用への円滑な移行を促進するため、農業者が負担する土地改良区地区除外決済金等の経費を支援

災害復旧事業費 15億1,119万円

補助災害復旧事業費→耕地災害復旧（幌加内ほか4市町9箇所）、土木災害復旧（幌加内町ほか16市町村38箇所） 単独災害復旧事業費→土木災害復旧（旭川市ほか40市町村）

※補正予算の一部を抜粋して掲載しています。

ご不明な点やご要望等がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい

富良野沿線5市町村長とともに 鳥獣害対策の推進における要望書提出

9月6日に富良野市（北猛俊市長）、上富良野町（斉藤繁町長）、中富良野町（小松田清町長）、南富良野町（高橋秀樹町長）、占冠村（田中正治村長）とともに、「鳥獣害対策の推進における要望書」を北海道知事（加納環境生活部長）、北海道議会議長（富原亮議長）に対し提出をいたしました。

野生鳥獣による農林業被害（令和3年度）は北海道全体で54.5億円のうち44.8億円がエゾシカによるもので上川地域では令和元年度3.56億円、令和2年度4.58億円、令和3年度5.29億円と増加傾向にあり、富良野市においては令和3年度1億円を超える被害がありました。

農業被害はもちろん交通事故や人身事故を防ぐため国や北海道、関係機関と連携した対策が必要なことから5市町村共同での提出となりました。鳥獣被害防止総合対策交付金の拡充と支援内容の充実や地域や市町村が連携して行う「共猟」への支援など7項目について要望を行いました。



▲加納環境生活部長（右から3番目）に対し要望書を提出



▲富原議長（右から4番目）に対し要望書を提出

観光目的税（宿泊税）に関する要望書を提出 富良野旅館業組合、北の峰旅館組合、ふらの観光協会



▲横信彦観光振興監に提出

9月28日に、富良野旅館業組合（石平清美組合長）、北の峰旅館組合（小林英樹組合長）、一般社団法人ふらの観光協会（鈴木敏文会長）とともに、北海道に対し観光目的税いわゆる宿泊税に関する要望書を提出いたしました。

観光目的税は、富良野市に置いても導入が検討されており、北海道も導入を検討していることから調整が必要になってきます。道では宿泊料金に応じて100～500円の徴収を検討しており、市町村の課税額との合計が宿泊者の負担につながるものが懸念されます。道の課税額を最低限とする事や財源の使途が市町村と重複しないよう調整することを求めました。

大雨による農地被害現地調査 農地整備の進む中士別町の圃場を確認

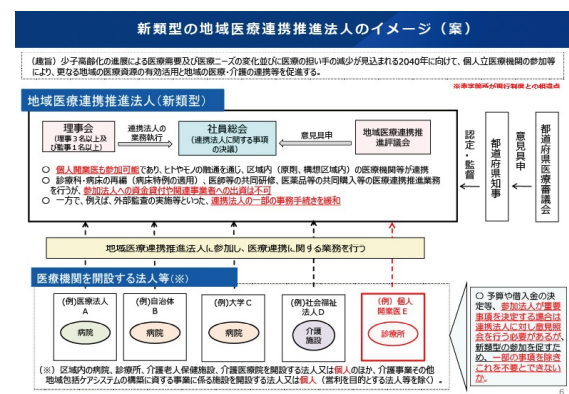
8月6日の大雨による農地被害の状況確認のため翌日7日に支援者同行のもと士別市中士別町の圃場の現地確認を行いました。中士別町では計画面積1100haの農地整備が進められていますが、未整備地においては水はけも遅く作物の生育に大きな影響が出ることが懸念されました。幸い秋まき小麦の収穫後だったこともあり、大きな被害は見受けられませんが、灌漑排水や暗渠整備などの農地整備はもちろんのこと隣接する河川の整備、適切な維持管理の重要性を改めて認識をしました。

浸水被害のあった中士別町の圃場



地域を守る安心安全の医療体制を 地域医療連携推進法人について質問

10月5日に行われた保健福祉委員会において、富良野協会病院が地域の医療機関と連携して設立を目指す地域医療連携推進法人について質問をしました。地域医療連携推進法人は、医療機関の相互間の機能分担及び業務の連携を推進し、地域医療構想を達成するための一つの選択肢で、複数の医療機関等が法人に参画することにより協調を進め地域において質が高く効率的な医療提供体制を確保出来ることが期待されています。また、制度の見直しにより、令和6年4月からは個人病院の参画も可能となり、さらなる地域医療・介護等の連携の促進が期待されます。



facebook



ホームページ

ホームページ、facebookでも活動報告をしていますのでぜひご覧ください

